

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年 8月18日 No. 28

国土交通省 「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会」

鉄道の軍事輸送!?

2022年5月19日、国土交通省において「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会(第3回)」が開催されました。その中で、防衛省からヒアリングを行い、「自衛隊が鉄道輸送に期待する要素」について議論が行われました。

注目!



【防衛省】 * 自衛隊が鉄道輸送に期待する要素について

—NHKのネットの記事で「ウクライナの鉄道当局によると、戦争が始まってから1日も止まったことは無い。23万人の職員のうち、124名が命を落とした。ただ、今ウクライナがロシアの侵略を受け止めるうえで、鉄道は生命線である」とあった。鉄道は物資も支えるし、諸外国との人的なつながりを維持するという意味では、現在ウクライナにとって死活的な手段であるようです。

—ロシアの場合は、国内の多くの兵力をウクライナに投入していると言われておりまして、その手段は鉄道である、ということであります。

—(北海道等に配備される機動運用)部隊を展開させる場合、様々な手段があるし、様々な荷物があります。荷物としては、人、車両等の装備品、弾薬や燃料などの補給品、大きく3つのカテゴリーに分かれます。人は船舶や航空機、そして自前の輸送力を用いて運ぼうと思っています。戦車などの車両につきましては、鉄道、トラック、船舶、こういった民間事業者様の能力を活用させていただきたいと考えております。弾薬や燃料も、同じであります。

【有識者の意見】

—現在のウクライナの問題で、日本人の防衛意識が高まっている状態かと思っておりますので、今のタイミングで考えられることがあれば考えた方がよいのではないかと思います。



【国土交通省 鉄道局の意見】

—軍事輸送ですが、これは正直に申し上げて、今まで鉄道分野で正面から考えてこなかったことだと思います。大規模な部隊輸送は一部を除き、やっております。先ほど戦車を運べないのかという話がありましたが、実際に測ってみると、戦車の幅が貨車の幅より広いものの、建築限界の中におさまっているので、専用の板のようなものに乗せれば運べるのではないかと議論もあります。色々な訓練などで練度を高める上で、本格的に必要ななら、貨車であるとか、積み込みの施設であるとか、費用負担も含めて、防衛省様とも色々議論していかなければいけない話だと思います。



鉄道は戦争に利用される!職場で議論を行おう!